

ハウディ・クローバーホンS・高損失用電話機2

取扱説明書

技術基準適合認証品



このたびは、ハウディ・クローバーホンS・高損失用電話機2をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。








安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This telephone is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタと電話機コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本商品を落としたりした場合、または内部に異物や水などが入った場合は、電源アダプタと電話機コードをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源アダプタと電話機コードをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に、お子様のいるご家庭では、ご注意ください。

本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所に依頼してください。また、改造は法律で禁じられています。

本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは、設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

電源アダプタコードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源アダプタコード等が破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタコードや電話機コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

電源アダプタコードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

ぬれた手で電源アダプタや電話機コードを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で本商品を操作しないでください。感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタをコンセントから抜いて点検、清掃してください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 注意

直射日光の当たるところや暖房設備、ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本商品底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。

お使いのとき

⚠ 注意

電源アダプタや電話機コードをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタやコネクタを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

本商品と電源アダプタコードを熱器具に近づけないでください。本商品や電源アダプタコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源アダプタをコンセントから抜いてください。

本商品に乗らないでください。＜特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください＞倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため電源アダプタをコンセントから抜いて行ってください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱いについて

STOP お願い

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください（変色や変形の原因となることがあります）。汚れのひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

置き場所について

こんな場合は、電話が繋がらなったり、雑音が入ることがあります。

STOP お願い

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなる場合があります。

目次

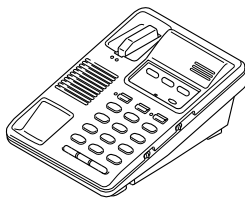
安全にお使いいただくために必ずお読みください	2	短縮ダイヤルでかける	13
ハウディ・クローバーホンS・高損失用電話機2の主な特長	6	同じ相手の方にかけ直すには(再ダイヤル)	14
セットを確認してください	6	電話がかかってきたときには(着信)	15
各部の名前	7	相手の方に待っていただくには(保留)	15
接続します	8	各種サービスを利用するには	16
スイッチを設定します	9	キャッチホンサービスを利用する	16
電話をかけるには(発信)	11	プッシュホンサービスを利用する(DP PB切替)	16
ハンドセットを取りあげてかける	11	構内交換機(PBX)の端末として使用するには	17
ハンドセットを置いたままかける(オンフックダイヤル)	11	内線から外線へかける	17
ワンタッチダイヤルで電話をかけるには		停電になったときには	17
(ワンタッチダイヤル)	12	ワンタッチダイヤルカードを使うには	17
ワンタッチダイヤルを登録する	12	付属品をご利用になるには	18
ワンタッチダイヤルでかける	12	番号カードを使う	18
短縮ダイヤルで電話をかけるには(短縮ダイヤル)	13	壁に掛けて使う	18
短縮ダイヤルを登録する	13	仕様/保守サービスのご案内	19

ハウディ・クローバーホンS・高損失用電話機2の主な特長

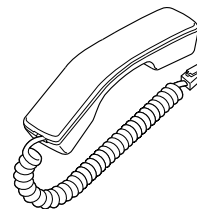
- ボタン2つで相手の番号をダイヤルすることができる短縮ダイヤル機能(10カ所)付です。(☞P13)
- ワンタッチで相手の番号をダイヤルすることができるワンタッチダイヤル機能(3カ所)付です。(☞P12)
- 最後にかけた相手にボタン1つでダイヤルできる再ダイヤル機能付です。(☞P14)
- ハンドセットを置いたままダイヤルできるオンフックダイヤル機能付です。(☞P11)
- 受話音量を2段階に切り替えられます。(☞P11)

セットを確認してください

本体(一式)

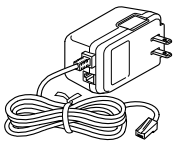


電話機本体(1台)

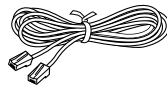


ハンドセット(1個)

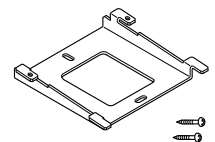
付属品



電源アダプタ(1個)
(コード:約3m)



電話機コード(1本)
(コード:約3m)



壁掛け用金具(一式)
(ネジ2本付き)



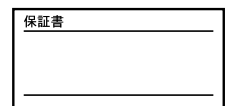
壁掛けハンガー(1個)



取扱説明書(1部)



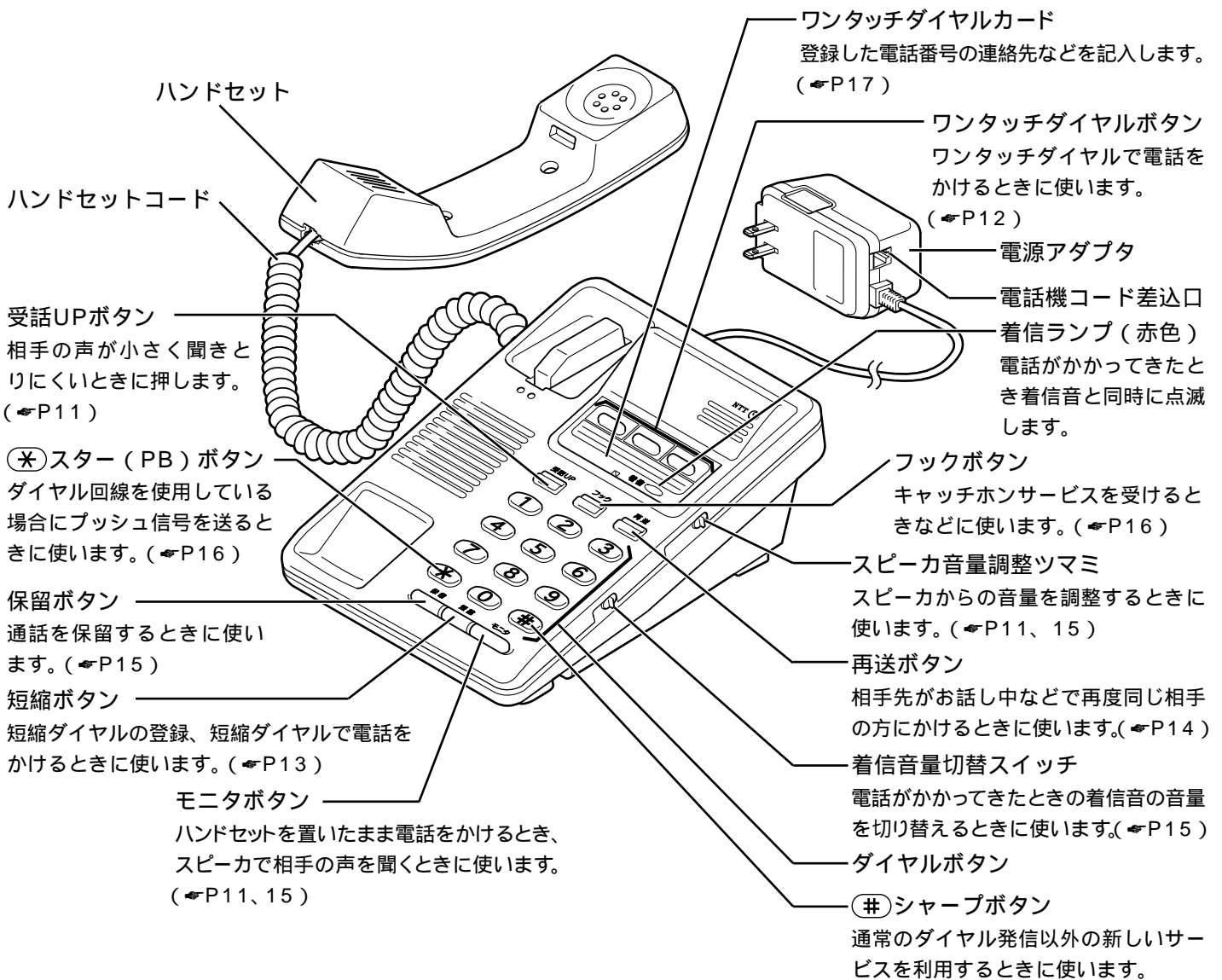
番号カード(1枚)



保証書(1枚)

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

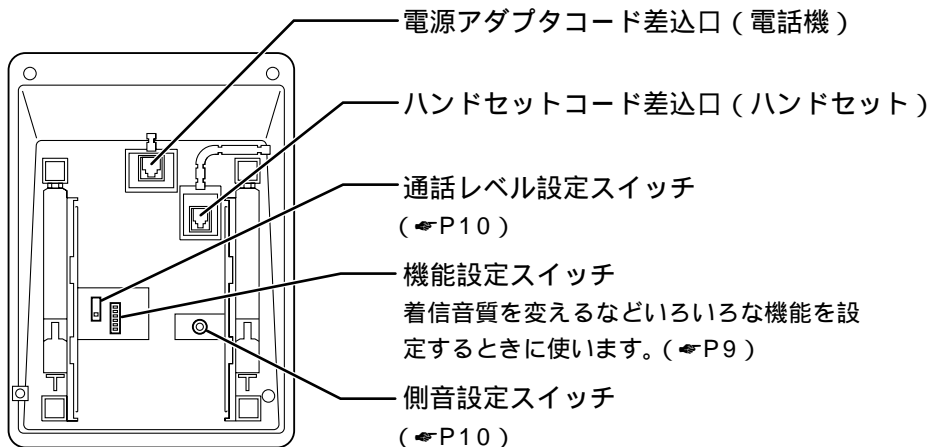
各部の名前



メモリクリア

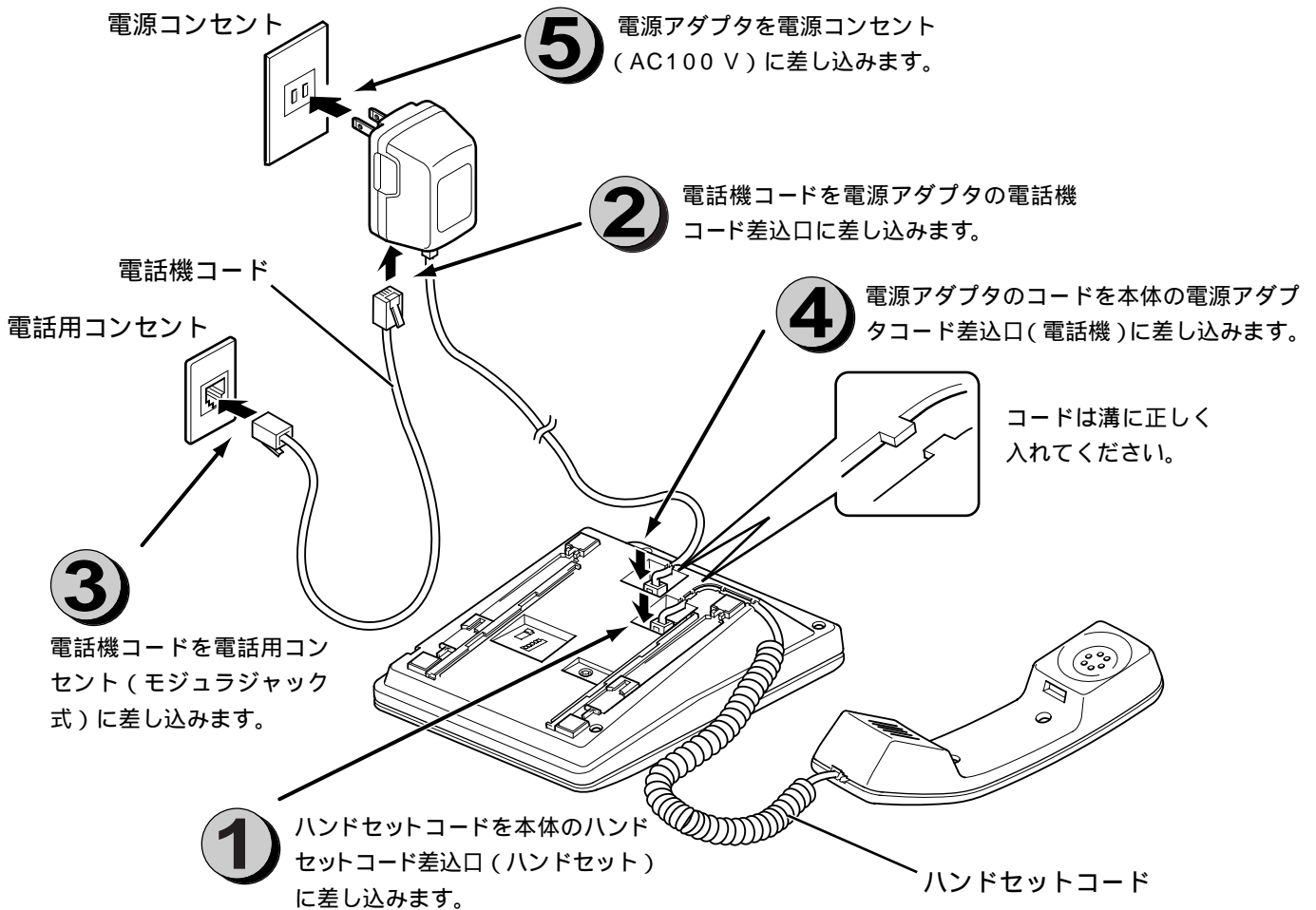
ワンタッチダイヤルカードをはずすと、メモリクリアボタンがあります。短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルのメモリをクリアするときに使います。

【底面】



接続します

電話回線の接続口が電話用コンセント（モジュラージャック式）でなく、ネジ止め式などのときは工が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

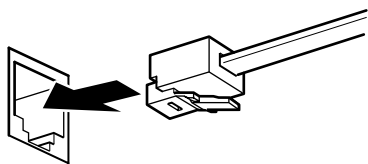


それぞれのコードは溝に正しく入れてください。

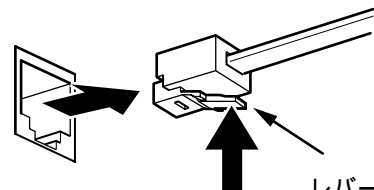
取り付け後は必ずハンドセットを取りあげて「ツー」という発信音を確認してください。

ハンドセットコードや電話機コードなどを差し込むとき

ハンドセットコードや電話機コードなどを引き抜くとき



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



レバーを押さえながら引き抜いてください。

警告

電源アダプタは必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

スイッチを設定します

いろいろな機能を設定するためのスイッチが、本体底面についています。お客様のご使用状態やご希望に合わせて切り替えてください。

【機能設定スイッチ】



DP / PB切替スイッチ

20PPS / 10PPS切替スイッチ

とは、ご利用の電話回線に必ず合わせてください。

プッシュホン回線	速いダイヤル式 (20PPS)	遅いダイヤル式 (10PPS)

STOP お願い

電話回線の種別について詳しくは、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

パッド切替スイッチ

普通のご家庭で使用する場合は、切り替える必要はありません。

構内交換機 (PBX) の端末として使用する場合はM側にしてください。(←P17)

着信感度切替スイッチ

通常はL (標準) 側にしておきます。

着信音が鳴りにくいときにH (高感度) 側にします。

着信音質切替スイッチ

電話がかかってきたときの着信音 (ブルル...) の音質を変えることができます。お好みに合わせて切り替えてください。(←P15)

オートポーズ設定スイッチ

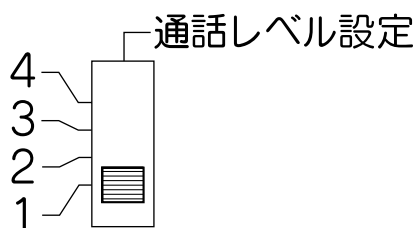
ONにすると再ダイヤル、ワンタッチダイヤルおよび短縮ダイヤルで電話をかけるとき、先頭のダイヤルの後に、自動的にポーズ (待ち時間: 約3秒) が入ります。(先頭のダイヤルが「0」か「9」のときに限ります。) OFFにするとポーズ (待ち時間) は入りません。

構内交換機 (PBX) によってはダイヤルの途中でポーズ (待ち時間) を必要とする場合があります。

スイッチを設定します

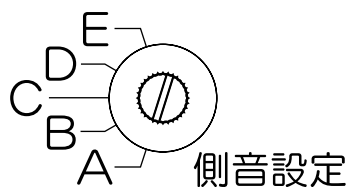
【通話レベル設定スイッチ】

通話が小さくて聞きとりにくいときは、スイッチを「1」から「4」へ、順番に切り替えて通話のしやすいところに設定します。



【側音設定スイッチ】

相手の方の声より自分の声が気になり、お話しがしづらいときはスイッチを「A」から「E」に順番に切り替えて、お話しがしやすいところに設定します。



お知らせ

通話レベル設定スイッチと側音設定スイッチはお話するときに関連しますので、一番お話しがしやすいところに設定してください。

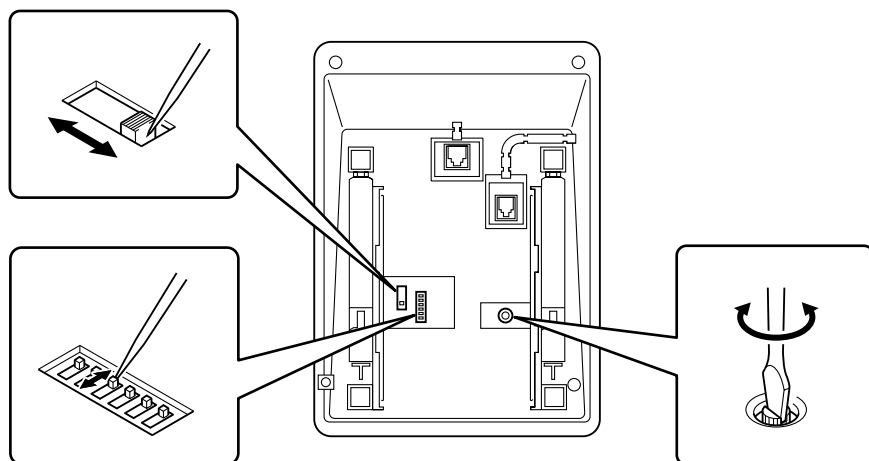


ワンポイント

スイッチを切り替えるときは

機能設定スイッチと通話レベル設定スイッチはようじのようなものをお使いください。(金属の使用は避けてください。)

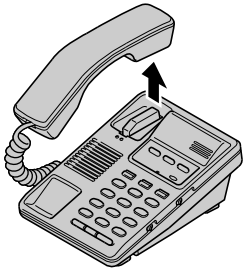
側音設定スイッチは先の細いマイナス(-)ドライバーをお使いください。



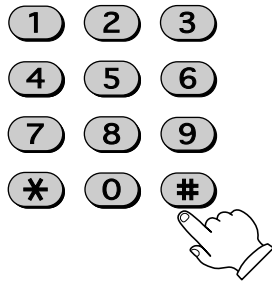
電話をかけるには（発信）

ハンドセットを取りあげてかける方法と、ハンドセットを置いたままかける方法があります。
天気予報や時刻を聞くときなどは、ハンドセットを置いたままかけると便利です。

ハンドセットを取りあげてかける



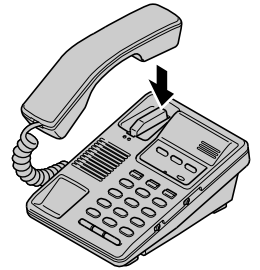
ハンドセットを取りあげます。
「ツー」という発信音を確認してください。



電話番号をダイヤルボタンで押します。
相手を呼び出している音が聞こえます。



相手の方が出たら、お話しください。



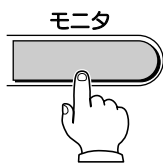
お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。



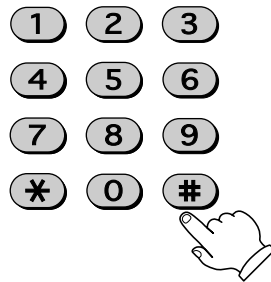
ワンポイント

相手の方の声が聞きとりにくいときは
受話UPボタンを1回押すと、受話音量が大きくなります。（←P7）
再度押すか、ハンドセットを置くと元に戻ります。

ハンドセットを置いたままかける（オンフックダイヤル）



モニタボタンを押します。
「ツー」という発信音を確認してください。



電話番号をダイヤルボタンで押します。



相手の方が出ないときは、もう一度モニタボタンを押せば、電話は切れます。

相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しください。



ワンポイント

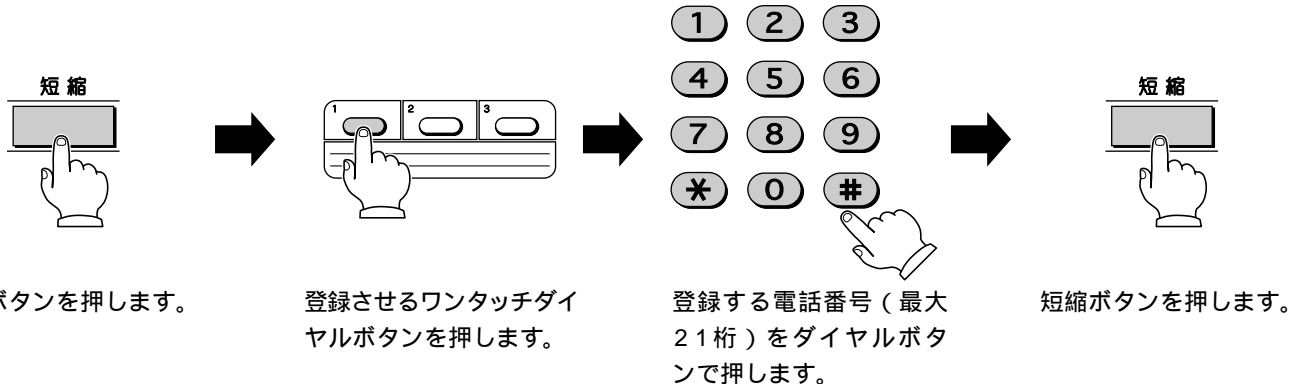
スピーカの音量を変えたいときは
本体の右側面にあるスピーカ音量調整ツマミで音量の大きさを変えられます。（←P7）

お話し中に相手の方の声をスピーカで聞きたいときは（スピーカ受話）
ハンドセットでお話し中にモニタボタンを押すと相手の方の声をスピーカから聞くことができます。（こちらの声は聞こえなくなります。）
再度モニタボタンを押すと、ハンドセットでのお話しに戻ります。

ワンタッチダイヤルで電話をかけるには(ワンタッチダイヤル)

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルの登録はハンドセットを置いたまま行います。
登録できる電話番号(最大21桁)は3カ所までです。



ワンポイント

登録されている電話番号を変更するには登録と同じ操作で新たに登録する電話番号を登録します。

登録されている電話番号を消去するにはハンドセットを置いたまま操作します。

- 短縮ボタンを押します
- 消去するワンタッチダイヤルボタンを押します
- 受話UPボタンを押します
- 短縮ボタンを押します

間違えて入力した場合はハンドセットを1回取りあげて戻し、最初から登録し直してください。

ワンタッチダイヤルカードの使い方

ワンタッチダイヤルカードに、登録した連絡先などを記入しておくとう便利です。ワンタッチダイヤルカードをご利用いただくと3カ所まで記入できます。(P17)

ポーズ(待ち時間)を入れるときは

上図で、先頭のダイヤル以降に再送ボタンを押すとポーズ(約3秒)を入れることができます。なお、ポーズも1桁として登録されます。

お知らせ

登録の操作中、次のことがあった場合は、登録が無効になります。もう一度最初からやり直してください。

- 操作の途中で約26秒間ボタンを押さなかったとき
- ハンドセットを取りあげたとき
- 上図で電話番号を登録する前に短縮ボタンを押したとき

ワンタッチダイヤルでかける



お知らせ

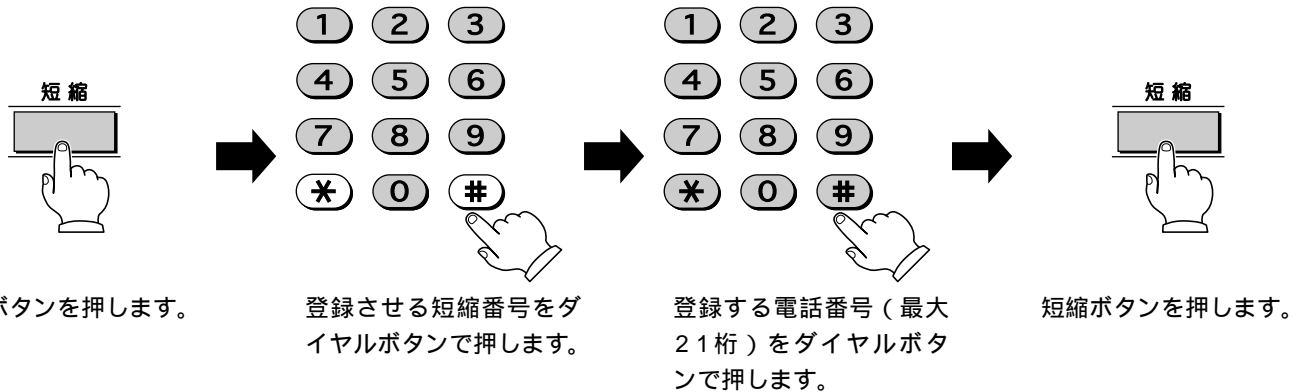
ワンタッチダイヤル中に他のボタンを押さないでください。間違った相手の方にかかったり、電話がかからないことがあります。

短縮ダイヤルで電話をかけるには（短縮ダイヤル）

短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルの登録はハンドセットを置いたまま行います。

登録できる電話番号（最大21桁）は10カ所までです。（短縮番号0～9）



ワンポイント

登録されている電話番号を変更するには登録と同じ操作で新たに登録する電話番号を登録します。

登録されている電話番号を消去するにはハンドセットを置いたまま操作します。

- 短縮ボタンを押します
- 消去したい短縮番号をダイヤルボタンで押します
- 受話UPボタンを押します
- 短縮ボタンを押します

間違って入力した場合は

ハンドセットを1回取りあげて戻し、最初から登録し直してください。

ポーズ（待ち時間）を入れるときは

上図 で、先頭のダイヤル以降に再送ボタンを押すとポーズ（約3秒）を入れることができます。なお、ポーズも1桁として登録されます。

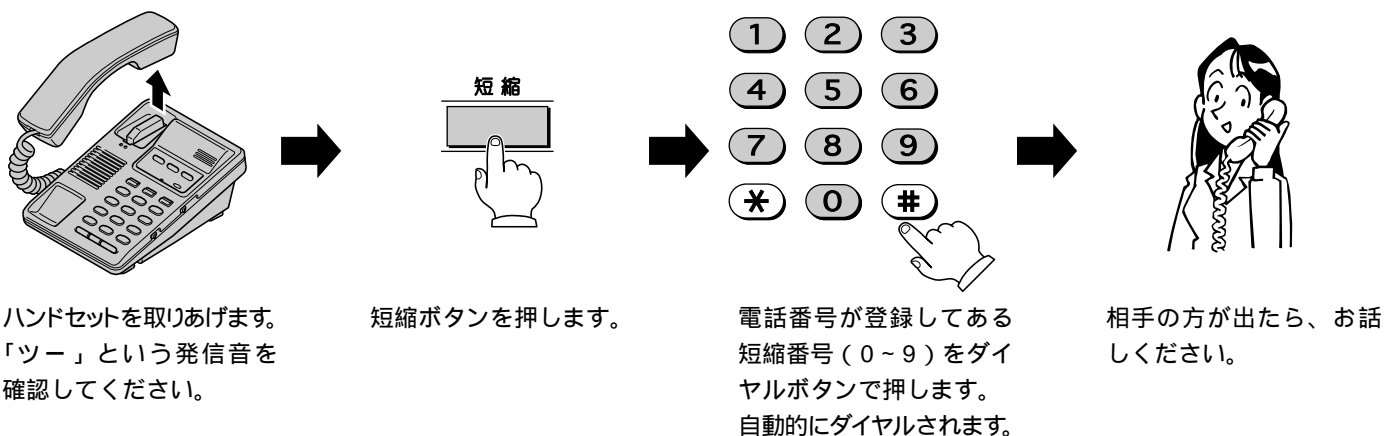


お知らせ

登録の操作中、次のことがあった場合は、登録が無効になります。もう一度最初からやり直してください。

- 操作の途中で約26秒間ボタンを押さなかったとき
- ハンドセットを取りあげたとき
- 上図 で電話番号を登録する前に短縮ボタンを押したとき

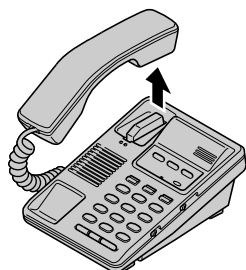
短縮ダイヤルでかける



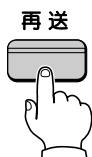
同じ相手の方にかけて直すには（再ダイヤル）

最後にかけた相手の方に再送ボタンでもう一度かけ直すことができます。相手の方がお話し中などでかけ直すときに便利です。

再ダイヤルでは、最後にかけた相手の方の電話番号（最大40桁）を記憶しています。



ハンドセットを取りあげます。
「ツー」という発信音を確認してください。



再送ボタンを押します。
最後にかけた電話番号が、自動的にダイヤルされます。



相手の方が出たら、お話しください。



お知らせ

最後にかけた相手の方の電話番号が41桁以上のときは再ダイヤルできません。

電話回線の種別をDPに設定した場合、最後にかけた電話番号で（*）（PB）ボタンを押した以降のダイヤルは再ダイヤルされません。

構内交換機（PBX）の端末としてお使いの場合は、再ダイヤルできないことがあります。

再ダイヤル中に他のボタンを押さないでください。間違った相手の方にかかったり、電話がかからないことがあります。

電話がかかってきたときには（着信）

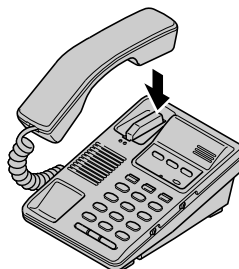
電話がかかってくると着信音が鳴り、同時に着信ランプが点滅します。相手の方の声をスピーカで確認してから電話に出ることもできます。



着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。



ハンドセットを取り上げて、相手の方とお話してください。



お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。



ワンポイント

着信音の音量を切り替えるには

本体の右側面にある着信音量切替スイッチをお好みの音量（大・中・小）に切り替えてお使いください。（←P7）

着信音の音質を変えるには

本体の底面にある着信音質切替スイッチにより2種類の音質を選ぶことができます。お好みに合わせて切り替えてください。（←P9）

相手の方の声を確かめてから電話に出るには

ハンドセットを置いたままモニタボタンを押します。相手の方の音がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取り上げてお話しください。

いたずら電話などで、お話ししないでそのまま電話を切りたいときには、ハンドセットを取らずにもう一度モニタボタンを押せば電話を切ることができます。

相手の方に待っていただくには（保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。保留中相手の方へは保留メロディ（ジュ・トゥ・ヴウ）が流れます。



お話し中に、相手の方に待っていただくよう伝えます。



保留ボタンを押して、ハンドセットを置きます。相手の方には保留メロディが流れ、自分のスピーカからも聞こえます。



ハンドセットを取り上げて、もう一度お話しください。ハンドセットを置かなかったときは、もう一度保留ボタンを押してお話しください。



お知らせ

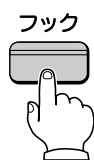
ハンドセットを強く置くと、保留が解除され、通話が切れることがあります。

スピーカから聞こえる保留メロディの大きさは、スピーカ音量調整ツマミにより調整することができます。

各種サービスを利用するには

キャッチホンサービスを利用する

お話し中にかかってきた電話を受ける当社のキャッチホンサービスをご利用になれます。
キャッチホンサービスを利用するためには、当社との利用契約（有料）が必要です。



「キャッチホン」の信号音が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、フックボタンを押します。

かけてきた相手の方とお話してください。
もう一度フックボタンを押すと、前の方とお話することができます。

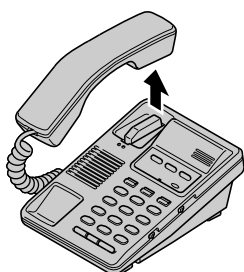


お知らせ

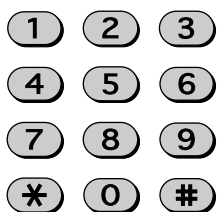
キャッチホンサービスなどをご利用になるときに以外にフックボタンを押すと、相手の方とのお話しが切れることがありますので、ご注意ください。

プッシュホンサービスを利用する（DP PB切替）

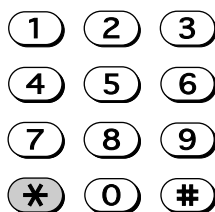
ダイヤル（DP）回線でご使用の場合でも、一時的にプッシュ（PB）信号に切り替えて、各種プッシュホンサービスをご利用になることができます。電話回線の種別を確認してからご利用ください。



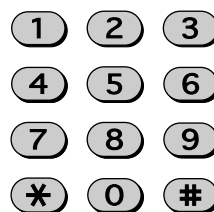
ハンドセットを取りあげます。



ダイヤルボタンを押して電話をかけます。



電話がつながったら、*ボタンを押します。
プッシュ回線をご利用のときは、*ボタンを押す必要はありません。



必要なダイヤルボタンを押します。



ワンポイント

プッシュホンサービスの種類は

- 航空券の予約
- クレジット通話サービス
- ディスプレイポケットベル
- 銀行のANSERシステム
- ホームテレホンなどによるテレコントロール
- 他の電話機へのリモコン操作など



お知らせ

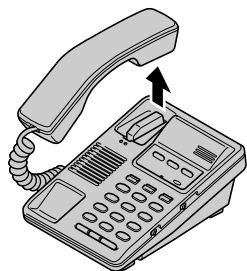
ダイヤル（DP）回線をご利用の場合、電話を切るとダイヤル（DP）信号に戻ります。
銀行のANSERシステムなど、場合によっては一部ご利用できないサービスがありますので、あらかじめご確認ください。

構内交換機（PBX）の端末として使用するには

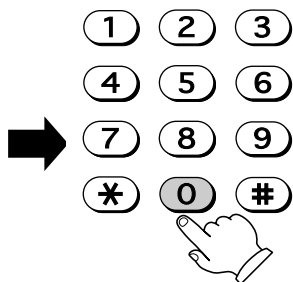
構内交換機（PBX）の端末として使用するときは、本体底面にあるパッド切替スイッチをM側にしてください。（←P9）

内線から外線へかける

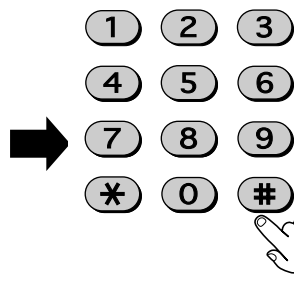
構内交換機（PBX）の内線から外線へかけるときは、外線の発信音（ツー）を確認してください。発信音を確認しないで連続して押しますと、誤ダイヤルの原因となります。



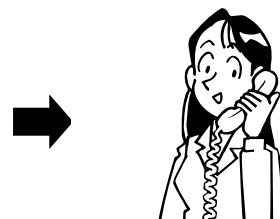
ハンドセットを取りあげます。
内線の発信音を確認してください。



① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
* ① 0 #
①（外線発信ダイヤル番号）を押します。
「ツー」という発信音を確認してください。



① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
* ① 0 #
電話番号をダイヤルボタンで押します。
相手を呼び出している音が聞こえます。



相手の方が出たら、お話しください。



お知らせ

上図の①は構内交換機（PBX）の外線発信ダイヤルの番号ですので、設置する構内交換機（PBX）によっては別の番号となる場合があります。

外線への再ダイヤルは、誤接続になることがあります。

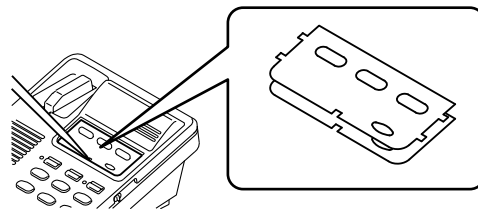
停電になったときには

停電中は通話内容が聞きとりにくくなることがあります。また、保留中に停電になると保留が解除され通話が切れることがあります。

ワンタッチダイヤルカードを使うには

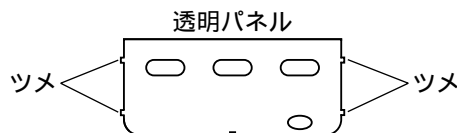
ワンタッチダイヤルカードのはずし方

透明パネル外周部下側のくぼみに、先のとがったもの（ペン先など）を差し込み、上に引きあげるとはずれます。その下にあるワンタッチダイヤルカードをはずします。



ワンタッチダイヤルカードを戻すとき

ワンタッチダイヤルカードを戻し、透明パネルを指でたわませながら両側のツメをはめ込んでください。



付属品をご利用になるには

番号カードを使う

付属品の番号カードには、緊急時の連絡先電話番号や短縮ダイヤルに登録した連絡先などを記入してお使いください。

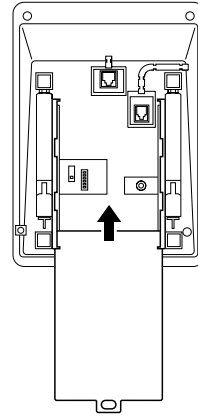
取り付け方

電話番号や連絡先を記入し、電話機本体の底面に取り付けて、必要なときに引き出してお使いください。

1 番号カードに電話番号や連絡先を記入します。

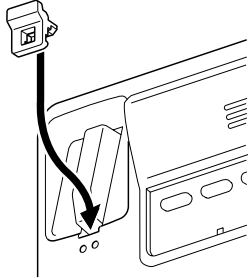


2 本体底面の溝に番号カードをたわませながら差し込みます。

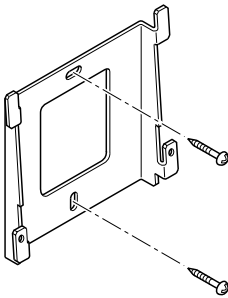


壁に掛けて使う

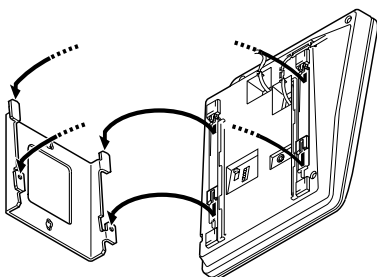
1 付属品の壁掛けハンガーを取り付けます。



2 付属品の壁掛け用金具をネジ(2本)で壁に取り付けます。



3 電話機本体の底面にある角の穴(壁掛け用穴)に、壁掛け用金具の4つのツメをしっかりとめ込みます。



⚠ 注意

電話機を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。

STOP お願い

ベニヤ板などの薄い板壁やボード板(石膏板)には、取り付けないでください。

仕様 / 保守サービスのご案内

仕様

寸法	約160 mm(幅)×約222 mm(奥行)×約89 mm(高さ)
質量	約690 g(本体)
直流抵抗	通話時 約298
絶縁抵抗	待機時 約4.4 M

本商品に使用可能な電源アダプタ：▽91-58681(定格 入力:AC100 V・5 VA 50/60 Hz 出力:DC24.9 V 35 mA)

保守サービスのご案内

保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをおすすめしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

故障の場合は


故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター：0120 - 109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。



この取扱説明書は、
エコマーク認定の
再生紙を使用して
います。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：☎0120 - 109217

トークニーナ

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2000 NTTEAST・NTTWEST



本2112-1(2000.4)
ハウディ・クロ・バ・ホンS・L2-トリセツ